



松本 美樹さん

- ・生まれ育ち：南部町北方
- ・職業：保育園パート勤務
- ・趣味：イタリア野菜をすること・着物リメイク・バイク！！
- ・南部町のここが好き：自然がいっぱい！

取材に伺ったのは、青空と風が気持ち良く、美しい大山の見える畑。

今回の里人は生まれも育ちも南部町、根っからの「なんぶの里人」松本美樹さん。

“食べるのが好き！”

畑をしている方が町内にたくさんいらっしゃるのとは勿論の事なのだが、松本さんの面白いところは育てている野菜にある。

「これはね、チーマディラーパって言って、菜花系。これはエルバステラ。星の草っていうんだって。それからこれはセルバチユ…。」

次々と出て来る名前はメモをしないと覚えられないような変わった名前ばかり。そして、別の畑に案内していただくと目の前に現れたのはなんと等身大に育ったアーティチョーク！！



イタリア野菜を多く作られている松本さんは、

元々5～6年前にルッコラを植え始め、それから様々なイタリア野菜を作るようになったそう。

「普通の野菜がうまく育てられないから、変わった野菜を作ってるのよ。」

と話す松本さんだが、畑には胡瓜やトマト、トウモロコシやほうれん草、赤玉ねぎやスナップえんどうなどのいわゆる“普通”の野菜も元気よく育っていた。

面白い野菜を育てるのは“食べるのが好き”ということが根っこにあると話す。

“食”や“作ること”への興味の始まりは中学生の頃だった。

何かに掲載されているケーキを見て、食べてみたい！と思ったのだが、町内にはケーキ屋が無く、“これは作るしかない！”と思ったのが“作ること”のきっかけだった。

高校は家政科に通い、調理の方に進みたかったのだが、調理コースは人気だったため被服コースに行くことになった。実は松本さんは趣味で着物リメイクもされていて、小物等をまごころ市（野菜の直売所）で販売しているのだが、この時学んだ洋裁が後々役立つことになったそう。

結婚・出産し、子どもが保育園に通うようになってからは、保育園のママ友と町内で豆腐の製造・販売（めぐみ豆腐）を始めた松本さん。

10年以上続けたのだが、経営が難しくなったり体調を崩したりして豆腐製造は辞めることになり、現在は朝と夕方保育園でパート勤務をしながら、畑をしている。

作った野菜は時々まごころ市で販売する事もあるが、塩漬けやジャム、ソースやペーストなど保存食などに加工するのも得意。

去年は育てたジョロキアでタバスコを作ったそう。（今年はハバネロの予定）また、ビキーニョというブラジルでは一般的な野菜をピクルスとうがらしにしたり、現在育てているルバーブを来年はジャムにする予定。

秋には畑以外にも、キノコ狩りをして塩漬けするのが毎年のルーティーン。

“好きなことを思いきり”

畑や加工、着物リメイクなど多趣味な松本さんのもう一つの趣味はバイク。

コツコツと貯めて購入したのは900ccの真っ赤なバイク。野菜に留まらずバイクもイタリア製だそう。

バイクのスーツも全て揃っていると話す松本さんは、休日には息子さんとツーリングに行ったり、サーキット場を走りに行くこともあるという本格派。

バイク好きはお父さんから引き継いでいるようで、なんと78歳のお父さんもまだ現役！！

「バイクに乗ったら人が変わるよ〜!」と笑いながら話す松本さんのバイクに乗る姿を一度は見てみたい。

「このバイクは足がギリギリ着くか着かないか。だから中途半端に怖がっていると転倒するのよ。進むときは進む、止まるときは止まる。人生も一緒だと思うの。あとは、タイミングもあると思うし、周りをどれだけ信じて委ねられるかというのも大事。」

バイクが好きな理由は感覚やスリルや爽快感など色々あるのだろうが、もちろん命がけ。

だからこそバイク好きはバイクに乗ることの覚悟や心持ちと人生の生き方を重ねることが多いそう。

松本さんがいつもエネルギッシュで真っ直ぐなのは、自分の“好き”を思い切り楽しんでいるからなのだろう。



渡邊舞（わたなべまい）/大阪府出身
南部町地域おこし協力隊

～取材者の一言～

“食べることが好きだから、作って楽しいお野菜を作っている”という松本さん。

野菜づくり、着物リメイク、バイク。全部含めて“自分の好き”をちゃんと知っていて、それを心から楽しんでいる生き生きとした松本さんの姿は、とても素敵でした。

バイクの言葉は、実は私の人生相談のようなところもあり、とても心に響く言葉でした。この取材を通して改めて南部町にはとても魅力的な方がたくさんおられ、私は取材の度にそれぞれの方からそれぞれの方の生き方や言葉を学ばせて頂いていることの有り難みを感じました。